

湘南ペガサス40周年記念に思うこと

ペガサス70 監督 坪井繁樹

私は満40歳になった時に今まで県社会人リーグに参加していた湘南アンテロースから（22年間所属）同期（湘南42卒）の阿部裕君と一緒に湘南ペガサスに入れて頂きました。私にとって湘南ペガサスは大変に憧れのあるチームでした。と言うのはこのチームは鈴木中先生の指導を受けた方々が大勢いらっしゃるチームなので一緒にプレー出来ることがとても楽しみでした。実際にプレーしてみて感じたことはゲームの組み立て方が皆さんが同じ方向を向いているので（フォーメーション）とても楽しくプレーできました。（ペガサス40時代）

50代ではスポレクで香川、60代では年輪ピックで金沢へ県代表で出場できたことも良き思い出です。この時期には監督としての苦労もあり（大人数の交代メンバーのやりくり）これもまた今となっては楽しい思い出です。現在はペガサス70で監督を仰せつかっておりますが今までとは違った事を考えております。今までは”勝つにはどうしたらいいのか”がいつも頭の中にあり各プレーヤーに対しああしろこうしろと無理な要求をしていたような気がします。これからの方針はOVER70となると皆さんの個性が前面に出てきてチームとしてのフォーメーションが確立できません。ましてチーム練習の機会が全くありませんのでなおさらです。メンバーの皆様はそれぞれが独自のプレースタイルをお持ちです。足の速い方、ボールキープが得意な方、キック力が優れた方 等々。監督としてこれらを総合してゲームを進めていく中で皆様に声を掛けていきたいと思っております。不得意な事をしようとせずに得意なプレーを前面に出していけばミスが減りボールが繋がっていくのではないのでしょうか。その結果勝利できればハッピーです。これからもできる限りこの湘南ペガサスに係わり微力ながらお役にたてるよう頑張っていく所存です。